

令和3年度 学カスタンダード指導計画・報告書【様式1】

教科：(理科)科目：(地学基礎) 対象：(第1学年1組～7組)

教科担当者：(1～6組:戸部、7組:三浦)

教科・科目の指導目標	正しいとされている地学的知識を系統立てて身につけ、自然を見る目を養いかつ広げる。 地学を学ぶことで理科を学ぶ意欲をはぐくみ、地球を知ること地球がわかる面白さを身につける。 自らの考えを論理的に述べたり、順序正しく記述できるなど、思考力・判断力・表現力を育成する。
------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>基礎的・基本的知識を問う問題は正答する者が比較的多い。</p> <p>複数領域に渡る事項の知識を総合的に判断して答えるような応用問題は正答できない。</p> <p>基礎的・基本的事項であっても、論理的な説明を要求したり計算を要する問題では、正答率が非常に低い。</p> <p>教科平均点は5教科の中でも下位の方である。</p>	<p>1. 年間指導計画の工夫 学習内容が系統的になるよう学習順序を検討する。</p> <p>2. 授業形態の工夫 ノートチェックを励行し板書内容の定着を図る。 計算問題は自分で答えを導けるよう、段階を追って記述できる作業プリントにする。 探求活動も同様の作業プリントにする。 出来る限り全員が答えを記入できるよう、机間巡視等の時間を長めにとる。</p> <p>3. 問題集の取り扱い 主に授業後、各自の復習に利用させることで授業内容の定着を図る。考査の準備用に利用させる。</p>	<p>教科会等において、以下の内容を確認</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の進捗状況 2. 生徒の理解レベル 3. 夏休み等の課題 4. 学力不振者への課題

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			